

1 教科 単元 3年 英語「Energy」

多様性

相互性

有限性

責任性

2 エssenシャル・クエスチョン

「What is the energy ,merit ,or demerit？」



3 題材計画

● SDGs

「7番 エネルギーをみんなに」、「4番 質の高い教育をみんなに」を主としながら、エネルギーの特質である3番（安定性・安全）・8番（安定性及び経済）・13番（環境）を副として絡めるものである。

● どのように「多面的/総合的に考える力・批判的な能力」育むのか

①「7番 エネルギーをみんなに」をテーマとして扱うことで、エネルギーの仕組みや、メリット・デメリットの両者を一面的なイデオロギーでとらえるのではなく、「安定・経済・環境・安全」の4点から考えること（本時を含む単元全体）

②発表の際に発表班の自己評価と聞き手の評価の齟齬もしくは一致等を確認すること（本時）

● 育みたい力（英語）

普段なじみのない社会的なテーマを英語で発表を行うことで以下の能力を育みたい。

① 難しいテーマの内容をいかに簡潔な単語で、文法的に正しく、論理的にまとめる能力

② 大声で発表し、強弱をつけ、発音を意識して読める能力。

● 本時における教員の主な役割


ルールの説明及び時間管理、振り返り等の質問を行う。

4 単元計画

- 1. 「What Energy do you want to make a speech?」 . . . . . 1 時間
- 2. Project Let's think about Energy. . . . . 4 時間
- 3. Presentation . . . . . 1 時間
- 4. Reflection . . . . . 0.5 時間

(Google form による)

## 5 SDGsと学習活動

時数	学習内容	主体的活動	対話的 活動	深い学び	ESDを育てる 力と評価	SDGs
1	発電にとって必要な要素・調べ方・考え方	どのような発電形式に興味があるかを考える。	グループ活動	エネルギーは快適な生活のためだけではなく、人命や通信等社会的基盤に関わるために使われていることを理解する。	批判的に考える力  未来像を予測して計画を立てる力	 
		どのようなエネルギーが面白そうか、取り組みやすそうか？				
2	Serious problem	題材計画に記してある力を育もうとしている。	班活動	発電内容について冷静に長所・短所があることを理解している。  英語 翻訳機能や辞書等を使った際に意味の本質を理解して適切な言葉が使えている。	批判的に考える力  未来像を予測して計画を立てる力  多面的・総合的に考える力	 
		The 4 issue for power (Stability, Economy, Environment, Safe)?				
3	Presentation (本時)	前時で調べた内容を発表する。	グループ活動	他グループの発表を聞くことで他の発電のメリットデメリットについて考えられるようになる。	批判的に考える力  多面的・総合的に考える力	    
4	Reflection	上記1～3を振り返る。	—	各発電内容について公平・冷静に、多面的・批判的にみられるようになったこと、できたこと・できなかったこと等を改めて自覚する。	批判的に考える力  多面的・総合的に考える力	   

## 6 発表のルール

発表内容：各電力について①概略、②長所、③短所について述べる。

発表に関する留意事項（概略）：①理解しやすいかどうか、②興味深い内容かどうか、  
③プレゼンテーション、④資料

発表に関する留意事項（詳細）：

- ①理解しやすいかどうか : 1 分かりやすい単語、2 論理性 3 文法の正しさ
- ②興味深い内容かどうか : 左記と同じ
- ③プレゼンテーション : 1 声の大きさ、2 アクセント、3 発音
- ④資料 : 1 見やすいかどうか、2 興味を引くものかどうか

各発表の流れ : ①班ごとに発表する（3分～5分）  
②自分たちで上記「発表に関する留意事項」でできていた  
順位付けを行う（1分以内）  
③ジャムボードを活用し、生徒が良かったものを付箋ではる。（1分）  
④付箋の数で順位付けを行う（厳密には行わず、目分量で行う）  
⑤②と④の齟齬で批判的な省察を行う。一致していた場合には  
一番の弱点を更に成長するように促す。

その他 : ICT等の接続がうまくいかない場合、プロジェクターの活用や  
板書等の活用を行う。

## 7 SDGsと学習活動（本時の活動）

時間	学習内容	主体的活動を促す手立て	対話的活動を促す手立て	深い学びを促す手立て	E S Dで育てる力と態度、評価	SDGs
10分	導入 （4. 発表のルールとジャムボードの説明。） きちんとルールができているかどうかの確認を行う。	タブレットの準備とジャムボードを開いて準備	無し	無し	無し	 
30分～35分	発表、フィードバック。  生徒には発表及びジャムボードの付箋に集中させるため、時間管理は教員が行うものとする。	自分の発表を行う。きちんと返事に対して答えているかどうか確認。	大きい声、わかりやすい単語で発表しているかどうか確認。（発表者）  きちんと、ジャムボードに付箋をはれているかどうか確認（聞き手）	自己評価と他者の評価が一致しているかどうか確認。理由まで踏み込んで、今後の改善につなげていくようにする。	人の発表を聞き、発表の良さに気づける力（ジャムボード）  他者と協力する力（発表）  批判的に考える力（発表内容及び発表技能）	   
10分	自分の発表及び人の発表をきいてのコメント 一人一人のコメントに教育的意義があるコメントをつけられるように留意する。 （時間等により次回の振り返り等にする）	きちんと挙手できるかどうか。		人のコメント、自分のコメントに対して深い考察があるかどうか。		

## 8 他との関連

地理

「世界の資源・エネルギー」「日本の資源・エネルギーと電力」

以上